

長崎県子連NEWS

あすをひらく子ども会

長崎県子連ニュース No.45

2022年(令和4年)9月

発行／一般財団法人 長崎県子ども会育成連合会

〒850-0029 長崎市八百屋町36(長崎県教育会館内) TEL・FAX095-827-4574

URL <https://www.kodomo-kai.or.jp/nagasaki/> e-mail kdm42@axel.ocn.ne.jp



長崎大会の盛会を願って

一般財団法人
長崎県子ども会育成連合会
会長 北御門 長蔵

令和4年度第53回九州地区子ども会育成研究協議会が、11月12日(土)、13日(日)にかけて、8年ぶりに長崎で開催されます。

現在、長崎市子ども会育成連合会を中心に、近郊の6市3町の子ども会連合会(連絡協議会)から準備委員を推薦していただき、実行委員会を立ち上げて大会を盛り上げていこうと考えています。

8年前と今とは、子ども会を取り巻く環境も大きく変わってきました。約2,000あった単位子ども会が約1,400に、会員数も約88,000人から約55,000人に減じております。

「子どもの数が減少し、これまでの活動ができなくなった。」「子ども会に入りたくないという保護者が出てきた。」などの声が聞かれるようになってきました。実際、活動を継続している単位子ども会では、たいへんご苦労をされています。それに追い打ちをかけているのが、発生して3年目に入っている新型コロナウイルス感染症です。

第7波を迎え、長崎県でも1,000人を超える新規感染者数が珍しくない日が続いています。

この『県子連ニュース第45号』が読者の皆様のお手元に届く頃には、減少の一途をたどっていることを願うばかりです。

コロナ禍のために、ここ2、3年はほとんど活動ができなかったと悩まれている子ども会も多くあります。県子ども会の事業も、ジュニア・リーダー研修会、伝承芸能大会、指導者育成者研修会等の恒例行事が軒並み中止せざるを得なくなりました。

そのような苦しい状況の中で、「今こそ、子ども会ば復活せんば。」「ウィズコロナの新しい子ども会のあり方は模索せんば。」など、力強い声が聞かれるようになってきました。

こうした状況下で開催される長崎大会です。

大会テーマを「長崎発//子ども会の復活を目指して!!」～コロナ禍の今、私たちにできること～

と設定し、研究協議会も従来の実践発表→質疑応答→指導助言というスタイルを改め、参加者が互いの考えや実践を出し合い、学び合う全員参加型のフリック式ディスカッションを取り入れました。具体的には「コロナ禍で行った子ども会活動」「ウィズコロナの子ども会でできそうな活動」「これから取り組みたい活動」などについて協議していきます。

また、新型コロナウイルス感染症について、今後の対策も含めて専門的な立場からお話をお聞きできればと思い、長崎大学副学長(新型コロナウイルス感染症感染対策担当)、長崎大学病院感染制御教育センター長の泉川公一教授に記念講演をお願いしたところ、ご多用な中にご快諾いただきたいへんありがたかった次第です。

なお、九州各県から訪れる参加者の皆様に長崎らしさを味わっていただきたく、『長崎くんち』の演し物に毎年取り組んでいる長崎市立諏訪小学校、桜町小学校の両校にアトラクションとして出演を打診したところ、「ぜひ出演させてください。子どもたちにとっても非常にいい経験になります。」と二つ返事で快諾していただきました。

「九州は一つ、長崎も一つ」未来を担う子どもたちのために、私たち大人が知恵を出し合い、汗をかき合い、大会を盛り上げていきましょう。

よろしくお願いいたします。

〔11月12日(土)〕 会場：長崎市民会館文化ホール

12:40 ～ 13:00 オープニング

13:10 ～ 14:00 開会行事(開会式・表彰式)

14:15 ～ 16:45 研究協議会

18:30 ～ 20:30 情報交換会(ホテルニュー長崎)

〔11月13日(日)〕

9:00 ～ 9:20 アトラクション

9:30 ～ 10:30 記念講演

10:40 ～ 11:20 全体会

11:30 ～ 12:00 閉会行事

令和4年度(一財)長崎県子ども会育成連合会

★第1回理事会 ★評議員会

令和4年5月13日(金)に第1回理事会を、6月10日(金)に評議員会を、「県教育会館」大会議室においてそれぞれ開催しました。

コロナ禍の影響で対面で行うのは2年ぶりとなります。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年ご出席いただいていた、県こども未来課と県生涯学習課の皆様への案内を遠慮させていただきました。

本年度は県子連理事及び監事、評議員の改選期ではございませんでしたが、各市町子連の人事異動や子ども会の役員改選等により、一部交代があり、次のように理事、監事、評議員が承認されました。

令和4年度 県子連理事及び監事

役職	氏名	選出地区	備考
理事(会長)	北御門長蔵	諫早市	
理事(副会長)	久米 直	長崎市	
理事(副会長)	薬師寺和弘	佐世保市	
理事(副会長)	山下 徳美	島原市	
理事	三浦 正二	長崎市	
理事	赤木 寛	平戸市	(新)
理事	松下 一徳	長与町	
理事	中野 博喜	新上五島町	
監事	吉村 正春	長崎市	
監事	垣内 一幸	長崎市	

理事、監事の任期は、令和3年4月1日から令和5年3月31日までの2年間とする。

令和4年度 県子連評議員

選出地区	評議員	(旧評議員)	備考
長崎市	谷内 貴代		
佐世保市	武尾 定義	(杉本 康子)	(新)
島原市	野口 一徳		
諫早市	石場加代子		
大村市	川竹 成稔		
平戸市	西村 悦子		
松浦市	吉元 優奈	(梶村 伊織)	(新)
対馬市	春田 新一		
壱岐市	山川 拓也		
五島市	平村 和弘		
西海市	田崎 健太	(宮村志津香)	(新)

雲仙市	小林 優己	(斉藤 誠)	(新)
南島原市	太田 誠二		
長与町	田中 直登		
時津町	山脇 清治		
東彼杵町	木場 香		
川棚町	一ノ瀬正章		
小値賀町	大田 議嗣		
佐々町	稲澤 昂平	(立石 徹)	(新)
新上五島町	花田 新助		

評議員の任期は、令和3年4月1日から令和7年3月31日までの4年間とする。

令和4年度 県子連専門委員(会長委嘱)

役職	氏名	地区	備考
専門委員長	水谷 幸子	長崎市	
専門委員	平山 仁	諫早市	
専門委員	宮田 龍郎	諫早市	
専門委員	谷口久美子	西海市	新

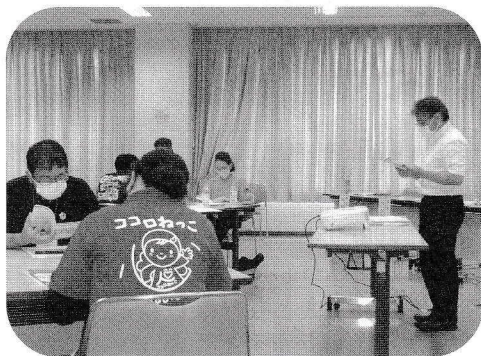
専門委員の任期は令和3年4月1日から令和5年3月31日までの2年間とする。

令和4年度(下半期)の主な事業

事業名	日程	会場
①全国子ども会育成中央会議・研究大会	10/29(土) ～ 10/30(日)	長野県 長野市 芸術館等
②九子連会長・事務局長会議	11/11(金)	長崎市 セントヒル 長崎
③九州地区子ども会育成研究協議会	11/12(土) ～ 11/13(日)	長崎市 市民会館
④長崎県子ども会伝承芸能大会	1/29(日)	南島原市 ありえ コレジヨホール
⑤長崎県子ども会指導者・育成者研修会	2/19(日)	大村市 コミュニティ センター
⑥県子連第2回理事会	3/10(金)	長崎市

令和4年度 長崎県子ども会

安全啓発[初級]指導者養成講習会

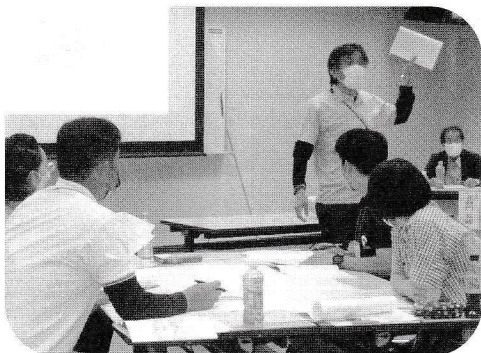


昨年度に引き続き、令和4年度長崎県子ども会安全啓発[初級]指導者養成講習会を、6月25日(土)、10:00～16:30、大

村市コミュニティセンター会議室で実施しました。

県内各市町子ども会から推薦された指導者11名が参加し、終始熱心な講習会となりました。

講師は、全子連から認定を受けた長崎県の子どもの会安全啓発中級指導者である、吉村正春様と梶聖悟様のお二人です。



受講者全員に修了証が渡され、後日、全子連発行の安全啓発初級指導者認定証が送付されました。この認定証は、今後、

各市町子連で開催する安全啓発講習会(研修会)の講師としての資格となります。

講習内容は、全子連で指定された全国基準に沿ったもので、以下の内容です。

- ①演習：安全と安全教育
- ②演習：産業界の安全対策
- ③講義：子ども会裁判について
- ④演習：KYT4ステップロールプレイ
- ⑤講義：スポーツ行事のケガ防止

平成25年度に新たに始まった全子連安全啓発指導者認定制度にもとづく、長崎県子連の認定指導者数は下表のとおりです。

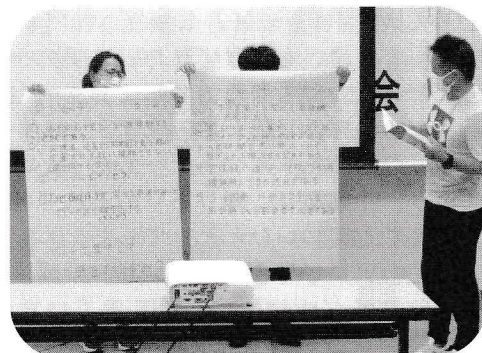
市 町	初 級 認定指導者	中 級 認定指導者
長 崎 市	18	6
佐 世 保 市	5	2
島 原 市	8	1
諫 早 市	7	1
大 村 市	15	
五 島 市	7	
西 海 市	1	1
雲 仙 市	2	
南 島 原 市	3	
長 与 町	6	1
時 津 町	2	
小 値 賀 町	1	
新上五島町	2	
計	77	12

(令和4年8月31日現在)

子ども会活動では子どもの健康と安全を確保することが最優先されなければなりません。従って指導者・育成者には様々な危機管理を基本とするKYTを活動の中に進んで取り入れていくことが求められています。

長崎県子連では、安全啓発初級指導者養成講習会を2年に1度実施し、初級の認定者数を増やしていく所存です。また、中級指導者の資格は九州や全国規模の講習会に受講者を推薦・派遣し、増やしていく計画です。

安全・安心な子ども会活動を進めるために、指導者の皆様には、安全啓発指導者養成講習会に積極的に参加していただきたいと思います。



令和4年度 九州地区子ども会

ジュニア・リーダーくまもと大会

本年度九州地区ジュニア・リーダー大会は、8月11日(木)～13日(土)の3日間、熊本県立あしきた青少年の家で開催されました。九州各県からの参加者は、ジュニア・リーダー約80名、指導者約30名、大会プロジェクトチーム・大会スタッフ約30名の計140名でした。

長崎県からは、中学生2名、高校生6名、指導者2名の計10名が参加しました。

子どもたちは、それぞれに意欲的で、自分なりの目標をもってこの大会に参加していました。全体的に真面目で、礼儀正しく、言葉遣いも丁寧でした。日頃の子ども会活動で自然と身につけてきたのでしょう。

主な活動をふり返ってみます。

各県の紹介をするコーナーもあったのですが、クイズあり、寸劇あり、踊りありのそれぞれの個性が発揮されとても楽しいひとときでした。

地元のテレビ局のアナウンサーの講演がありましたが、「無意味な比較はしない」「限界は自分でつくらない」「疑問を疑問のままで終わらせない」「すぐに始めること」「誰かを頼ること」など、中高生にも大人にも、これから生きていく上で大切なフレーズをご本人の体験に基づいてお話いただき、子どもたちも真剣に聞き入っていました。



海洋体験では、ペーロン船乗船でした。長崎の速さを競うペーロンとは異なり、子どもたちにとっては少し物

足りなかったかもしれませんが、他県のジュニアリーダーたちとのチームワークが深まる活動になったようでした。

三角灯籠づくりでは、他県の子どもたちと仲良く語り合いながら作成に取り組んでいました。切断、彩色、

組み立て、後片付け等にそれぞれの性格が出ていました。夜の集いで、ランプをつけたときには、幻想的な光に思わず歓声があがりました。

最終日は雨模様の天気となりました。

別れが近づくにつれ、メールや写真を交換する姿が目につくようになりました。

今回の活動や人との出会いが、その後の人生にまちががなく役に立つことを確信しています。一人一人にとって有意義で充実した大会となりました。お世話してくださった熊本県、熊本市の子ども会の皆様に感謝しています。



長崎県ジュニア・リーダー研修会中止

令和4年度の「長崎県子ども会ジュニア・リーダー研修会」は、7月28日(木)～30日(土)、上五島海洋青少年の家で実施予定でした。

小学生89名、中学生12名の計101名の参加申込があり、その多さに子どもたちのやる気を感じ、嬉しい限りでした。

実施に向け、乗船券の手配、班編成や部屋割り、研修の内容や進め方、引率指導者の役割分担、関係機関との連携など、一つ一つ確認していきながら準備を進めてきました。

研修のしおりも事前に配布を済ませ、いよいよ後は出発するのみという段階で、新型コロナウイルス感染症が急増・急拡大の様相を見せ、開催地教育委員会並びに開催地子ども会関係者の皆様と協議の末、やむなく中止の判断をさせていただきました。

参加を予定していた子どもたちや引率の皆様にとっては、大変残念なことでした。次年度の研修会に是非参加してください。